

## 自律的移動支援プロジェクトについて

－すべての人が持てる力を発揮できる社会システムをめざして－

### 1. プロジェクトの目的

本プロジェクトは、すべての人が持てる力を発揮し、支え合って構築する「ユニバーサル社会」の実現に向けた取り組みの一環として、社会参画や就労などにあたって必要となる移動経路、交通手段の選択や目的地情報などについて、「いつでも、どこでも、だれでも」がアクセスできるネットワークの構築などについて検討を行うことを目的とする。

### 2. 検討内容等

具体的な情報の内容としては以下の項目が考えられる。

- 1) 出発地から目的地までの移動手段、移動経路に関する事前情報
- 2) 移動途中の緊急時の支援情報
- 3) 目的地周辺のピクト、標識、案内情報
- 4) 目的地の施設・空間内の情報
- 5) 一連の自律的移動を支援する地域支援システムに関する情報

これらの情報を携帯電話、ユビキタス機器、インターネット、地図、カーナビゲーション、「道の駅」・鉄道駅、空港・港湾ターミナルなどの情報ターミナルなどのツールも活用し、利用者に適応した形で情報提供・情報交換できるシステムについて検討を行う。

また、それぞれの情報の更新や民間施設、活動等の情報が産官学の連携によりスムーズに行える枠組みの構築を目指す。

検討にあたっては、阪神淡路大震災(平成7年1月17日)以来から自律的な復興に取り組み、陸・海・空の交通機関が集中し観光入り込み客も多く、また、2005年度には神戸空港の開港、第10回チャレンジド・ジャパン・フォーラム(CJF)国際会議in神戸の開催が予定されている国際都市神戸をモデル地域として社会実験を行う。

### 3. 今後のスケジュール

平成16年3月18日(木)：神戸プロジェクトチーム・準備会の開催(於：神戸)

平成16年度：ITS世界会議とタイアップした障害者にも利用できる「歩行者ITS」を名古屋で試行、状況の把握。

神戸地区の設置を念頭に置いたピクトの公募、選定

平成17年度：神戸地区において、ピクトの設置、「歩行者ITS」、ITを活用した各種交通モード、施設等が連携した経路案内システムについて社会実験